



Komatsu 高校

学校通信

令和6年

12月

ベストタイミングでグッドコミュニケーション

生徒課長 藤本 賢二

あなたはクラスや部活動など、学校生活や生活の中で他人と会話をするとき、何も考えずに思ったことをそのまま口に出していませんか？「自分の発言で場の空気が変になった」「微妙な雰囲気(空気)の顔をされた」というような経験はありませんか？共同生活、人間関係において、その場その場の空気を読んで、適切なコミュニケーションを取るのはとても大切なことです。

では、「空気を読める人」と「空気を読めない人」の違いは何でしょうか？

空気を読める人は、その場の状況や相手との関係性を理解した上で、よく考えて言葉を選び発言し、相手の感情を読み取ることができる人だと思います。つまり、空気を読める人は自分のことよりも「相手目線」で考えることができ、適切な言葉を選択する人が多いのではないのでしょうか。

逆に空気を読めない人の特徴として、相手の話の腰を折ったり、話を聞くことができなかつたり、余計な一言を言ってしまったり、冗談を言ったつもりが相手を不快にしてしまうような相手の感情を察することができず、思いついたことや自分の言いたいことを自分だけのタイミングで口にしてしまう人が多い気がします。

「空気を読める人」は聞き上手・観察上手なのに対して、「空気を読めない人」は相手の話を深く聞くことが苦手・状況や人間関係を認識することが苦手という違いがあると思います。

「空気を読める人」になるために心がけることとしては、

・発言する前に相手の感情を想像する

自分の意見を発言する前に、目の前の相手をよく観察して感情を想像する。

・適切な「間」を取る

相手が話している最中なのに遮って自分の話を始めてしまう、一方的に自分の話をしてしまうことがないよう、発言する前に一度立ち止まって話を始めるタイミングをみる。相手の話を最後まで聞いてから口を開く癖をつける、相手が忙しそうにしていたら後で話しかけるなど、ちょっとしたことで良いので意識して取り入れてみる。

・相手の話をしっかり聞く

相手との会話に集中できず頭の中で別のことを考えてしまい、会話の流れと違う発言をして微妙な空気になることがないように相手の話を最後までしっかり聞いて、それからどのように反応を返すべきか考えてから発言する。

・周囲をよく観察する

周囲の人や状況を観察する。また、会話をする相手の表情や視線、服装、仕草、状況などをじっくりと観察する。焦って口を開くのではなく、相手がどんな表情をしているのか、どんな行動をしているのか目を向けてみる。

・決めつけや思い込みをなくす

「きっとこうに違いない」と勝手に自分の想像や憶測だけで決めつけてしまわない。

学校生活に限らず、あらゆる場面で良好な人間関係を築いていくためには、空気を読むことが非常に重要になります。

まずは相手の話をしっかり聞くこと、状況や相手の表情をよく観察し想像力を磨くことを心掛けてみましょう。

【12月行事予定】

曜	行 事
日	PTA研修旅行（高知方面）
月	期末考査（～12/6）
火	
水	
木	
金	↓
土	総合健診日③（小松保健センター）
日	
月	第2回手紙相談（～12/13）校納金引落
火	テーブルマナー講習会 ④限～（3-4）
水	クラスマッチ
木	
金	クラスマッチ予備日 全校集会（保健相談課）
土	家庭科技術検定食物2級（2-4）保育技術検定2級（3-4, 2-1）
日	第14回ビジネスコミュニケーション検定試験
月	40分授業
火	朝清掃 火④⑤⑥⑦限 40分授業 進路ガイダンス 保護者懇談会(13:15～)
水	朝清掃 水③④⑤⑥限授業 40分授業 保護者懇談会(13:15～)
木	木①②③限の授業40分授業 保護者懇談会(13:00～)
金	↓表彰伝達 終業式 保護者懇談会(12:00～)
土	大学入学共通テストファイナル(3年) 被服製作技術検定1級(洋服) (3-4 11名) 地域の魅力発信学校公開⑨(9:30～12:00)
日	
月	
火	冬季セミナー(～12/27)
水	
木	
金	仕事納め ↓
土	
日	
月	
火	

【今月の名言】谷川俊太郎の言葉

「強さは、勝つことから生まれるものではない。強さを鍛えてくれるのは、苦勞なんだ。困難にめげず、あきらめないと決心する、それが強さなんだ。」

